

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イノック技術研究所第3試作棟新築工事	階数	地上1F
建設地	秦野市堀山下字松葉380-5、380-23、380-6	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	20人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,232時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2018年3月16日
敷地面積	7,899 m <sup>2</sup>	作成者	(株)福田組一級建築士事務所
建築面積	4,024 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月16日
延床面積	3,947 m <sup>2</sup>	確認者	(株)福田組一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: 3.0 B: 1.5 BEE=1.0 C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 77%

③ 上記+②以外のオンサイト手法: 77%

④ 上記+オフサイト手法: 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> ・高寿命な材料の採用とLEDの導入、節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		-
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b> ・高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。 ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>LR1 エネルギー</b> ・LED照明設備を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型機器の採用により、水資源保護に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・光害対策ガイドラインチェックリストの項目の過半を満足している。 ・広告物照明を行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される